

97 鳥取県高P連会報

Contents

- | | | | |
|----------------------------------|-----|----------------------------|---|
| □高P連会長挨拶 | 1 | □第65回中・四国地区高P連岡山大会報告 | 6 |
| □特集「自転車用ヘルメット着用の努力義務化について」 | 2～3 | 全国高P連会長表彰・県高P連表彰 | |
| PTA功労者表彰 | | □鳥取県学生寮入寮生募集 | 7 |
| □PTA活動紹介 | 4 | 長谷育英奨学金30周年 | |
| 倉吉西高校・米子南高校 | | □高校生総合保障制度案内 | 8 |
| □令和5年度総会報告・県高P連役員 | 5 | | |
| 県立高校PTA会長・校長名簿 | | | |
| 令和5年度・令和6年度各種大会等の予定 | | | |

今年度、鳥取県高等学校PTA連合会会長を拝命いたしました鳥取県立鳥取西高等学校PTA会長の徳吉淳一です。平素は当PTA連合会活動にご理解ご協力をいただいておりますことを、教育委員会の皆様、また保護者の皆様には厚く御礼申し上げます。そして、各高等学校校長先生をはじめ教職員の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策時は、前例のない困難に對しご尽力いただき、子どもたちが安全に学校生活を送っていたことを心より感謝申し上げます。

PTAはアメリカの運動から始まり、日本では昭和21年に戦後の日本の教育の民主的改革を進めるために来日した米国の教育使節団がPTAの結成を奨励したことを受け、昭和25年4月までに全国の98%にあたる小・中・高等学校においてPTAが組織され、市町村や都道府県単位の連合組織や全国組織もつくられ、今日に至っています。

しかし、現在、PTA不要論が全国的にささやかれております。特に、高等学校より



「持続可能なPTA活動のために」

鳥取県高等学校PTA連合会会長
徳吉 淳一
(鳥取県立鳥取西高等学校PTA会長)

中学校、中学校より小学校と、歳が小さくなるにつれて、その風潮は大きくなっていくように感じており、大きな問題意識を持っており、その原因は、一概に言えませんが、核家族、共働き世帯の増加、学校における事務局機能の問題、行事への参画方法などの保護者の負担の問題、また、教員不足、働き方改革などの問題と、様々な要素が複雑に絡み合っており、PTAそのもののだけが原因ではありません。

このような状況ですが、従来の貢献度を考えますと、私は、PTAの持続可能な活動を模索することが子どもたち、学校、我々保護者にとって良い選択であると思えます。そのために必要なことを2つ挙げます。

1つは、PTAに対する関わり方を尊重することだと考えます。PTAへの関わり方は様々あります。役員、委員長として中心的に関わる、クラス役員として委員会に所属し活動するなどです。また、PTA活動に對してご意見、アドバイスをいただくこと、

会員として会費を納入すること自体もPTAへの協力であり、人それぞれであり、義務ではなく、会員の皆様の主体性に依拠した関わり方を尊重していくことが、これからのPTAに求められるのではないのでしょうか？

2つ目は、便利でスマートな活動を行っていくことです。当連合会の活動、県内各高等学校PTAの皆様の創意工夫をこらした素晴らしい活動、全国の高等学校の取組などをデジタル広報紙等で共有し、また、研修会等をハイブリッド開催し録画しておき、これらをいつでもどこでも観ることができるようになることなどの工夫です。利便性の向上は、効果的なPTA活動につながります。また委員会活動などを見直し、スマートな組織運営にしていけることも大切であると考えます。

時代の変化と共にPTAの在り方も変化するのは当然のことです。義務から主体性へ、より便利に、よりスマートにと、持続可能なPTA活動のために会員全員で創意工夫して取り組んでいくことが大切です。会員の皆様におかれましては、PTA活動に對しまして、それぞれの関わり方でご協力いただきますようお願い申し上げますと共に、役員一同、持続可能なPTA活動を念頭に当連合会の発展のために尽力して参りますことをお約束申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

発行

鳥取県高等学校PTA連合会 〒680-0846鳥取市扇町21県民ふれあい会館内

TEL/0857-27-0730 FAX/0857-27-0739 E-mail/tori-kop@gamma.ocn.ne.jp

バックナンバーはホームページでご覧いただけます。http://tottori-koupren.com/



特集

自転車用ヘルメット
着用の努力義務化について

～自分の命も、他者の命も守りきれぬわが子であるために～

成年年齢の引き下げに伴い、18歳青年に選挙権等の権利が付与され、相應の義務を果たすことが求められています。地域を構成する社会人としての責任が高校生により一層期待されているところです。自転車用ヘルメットの着用もその一つですが、お子様としてお住まいの地域における高校生の実態はどうでしょうか。

(1) 高校生の思いは分かるけど…

道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日からすべての自転車利用者にヘルメットの着用の努力義務が課されるようになりました。ヘルメットを新規に購入された保護者の方も多数いらっしゃると思います。

県内各校においても、自転車通学者及び部活動等で自転車を利用する全学年の生徒に登下校中等のヘルメットの着用を義務づけるとともに、当該ヘルメットを所有していることを自転車通学等の許可条件としています。また、登校時の通学路や各校の駐輪場近辺では、学校の先生と警察署の方々が協力して指導する等、着用推進に関する啓発活動を継続しています。

他方、鳥取県内の高校生の状況に

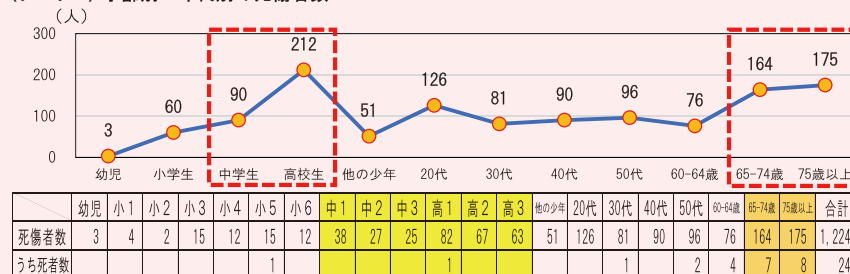
ついては、学校や地域により様々なようです。ヘルメットを着用することと安全性が高まることは分かっているながらも、次のような理由からヘルメットを着用しない生徒も少なくないようです。

▼髪型が乱れる
▼蒸れてとても不快になる
▼着脱が面倒くさい

高校生は青春真っただ中。こういう本音は分かる気がします。

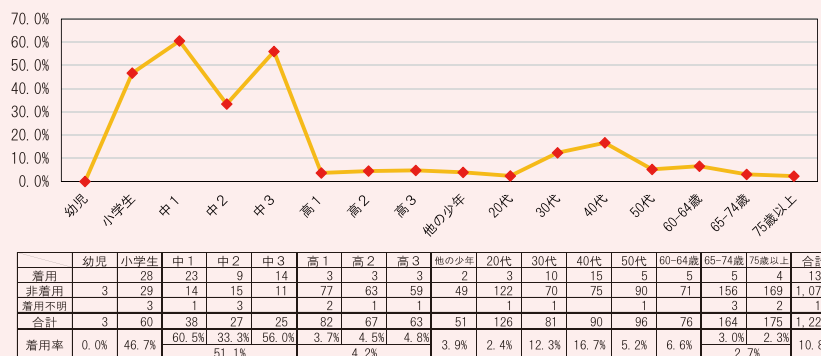
P・T・A活動は教育を創っていくボランティア。高校で学ぶ3年間は、成年に求められる責任やその理由等について、実生活をとおしてじわじわとわが子に理解させ、自らしっかりと判断し行動できるよう支援したいものです。これは高校生の安心安全な学校生活にもつながります。自転車用ヘルメットの着用推進活動はP

〈データ1〉学齢別・年代別の死傷者数



- 過去10年間で、自転車乗用中の交通事故による死傷者数は1,224人、うち24人が亡くなった。
- 高校生の死傷者数が212人と最も多く、中学・高校生が全死傷者の24.7%を占める。
- 死者24人中、65歳以上の高齢者が15人（62.5%）、60歳以上では19人（79.2%）と高齢になるにつれ、死者数が増加している。

〈データ2〉学齢別・年代別の自転車乗用中死傷者のヘルメット着用率



- 自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用率は10.8%
- 高校生の着用率は4.2%と、中学生の着用率（51.1%）と比較して低い
- 75歳以上の着用率は2.3%と、母数の少ない幼児を除いては最も着用率が低い

※鳥取県警察本部ホームページ参照

T・A活動の本丸の一つといえます。
(2) 高校生にとって不都合な事実
鳥取県内の自転車乗用者並びに中学生・高校生の自転車乗用者の死傷者数やヘルメット着用率等に係わる実態について、鳥取県警察本部のデータを引用して紹介しま

データ1における高校生死傷者の加害者、被害者の別は定かではありませんが、データ2が示す実態と総合すると、私達は「自転車通学の利便性は自分の命の安全を確保してこそなのだ」とわが子に伝えなければなりません。

(3)県内高校の取組事例

倉吉総合産業高等学校では、次のような経緯と取組を踏まえ、生徒の意識啓発と交通安全に係わる主体的な行動を喚起しています。

○令和5年3月

・交通安全マナーアップ推進リーダー校に指定。

・倉吉警察署と連携して、交通安全教室を開催。

・「自転車盗難をなくそう大作戦」の啓発看板を作成し、JＲ倉吉駅周辺駐輪場に設置

○令和5年6月

・「自転車通学安全モデル校」に指定

生徒の自転車用ヘルメット着用や交通マナーの遵守について生徒が自ら率先して呼びかけているとのこと。交通安全対策について、生徒が自分のことばで仲間にも働きかけるといふ点は、同校の教育方針も踏まえた特筆すべき取組だと思います。

(4)努力義務で作る安心と安全

自転車用ヘルメットの着用は努力義務であるため、罰則や罰金等のペナルティが課されるものではありません。しかし、高校生が事故の加害者となった場合、事故処理等が完結するまでそれ相応の不安を抱えながら学校生活を送ることになったり、高額な賠償金が必要になったりするなどの恐れは十分に想定されます。

高校は、生徒が目標や夢に向けて様々なチャレンジに果敢に挑戦したり、多様な人との出会いや経験を踏まえて自分の可能性を広げたりする貴重な場です。生徒一人ひとりが安全安心に学校生活を送ることはすべての基盤となります。

高校生が、自転車用ヘルメット着用を従

前の校則と同様とみなし、「このルールを破ったところで大勢に影響はないだろう」と考えるのは、こうした観点からも甘いと言わざるを得ません。大切なわが子だからこそ、そしてわが子に実りある高校生活を過ごしてもらいたいからこそ、成年年齢の引き下げに伴い、「学校生活を安心安全に過ごすための基盤は自分が作っていないといけないのだ」との自覚を促したいものです。

他方、ヘルメットを着用し、交通ルールを遵守して自転車を利用していても、不慮の事故に巻き込まれたり、ちょっとした不注意から事故を起こしてしまったりすることはありえます。この点において、自転車保険に加入しておけば、自分だけでなく相手の生命と身体そしてその後の生活を守ることに繋がります。保険加入は、自転車通学者が果たすべき社会的責任の一端といえるかもしれません。鳥取県高等学校PTA連合会では、割安な掛け金で加入できる【高校生総合保障制度】「ハイスクール24」を導入しています。(団体契約) 詳細は本会報8ページをご参照ください。

自転車用ヘルメットの着用は努力義務だからこそ、「なぜ着用するべきなのか」についてわが子が納得することが肝になります。成年年齢引き下げの意味をまずは私達保護者がしっかりと認識し、家庭での声かけや各校の実態に即したPTA活動をとおし、自分の命も他者の命も守りきれ、そんな社会人基礎力を育成しましょう。



文部科学大臣表彰

「PTA活動振興功労者表彰」

鳥取県立鳥取西高等学校

前PTA会長

西川 昌孝氏

〈西川氏 喜びの言葉〉

この度、PTA活動振興功労者表彰を受賞できましたこと、大変に光栄に思います。また、多くの会員の皆様や先生方のご協力があったこそ受けられたものと、皆様に心から感謝いたします。

子どもたちの未来を支える為、そして教育への貢献を心から愛した為に、幼稚園での幼児教育から始まり、義務教育、そして高等学校と会員の皆様、先生方と共に行事・研修会の運営等PTA活動に邁進して参りました。

分不相応にも、鳥取県高等学校PTA連合会と中国・四国地区PTA高等学校連合会の会長、全国高等学校PTA連合会理事として皆様のご支援をいただきながら、2019年の中国・四国大会鳥取大会を主催させていただきました。また、現在は鳥取県連の顧問として、微力ながら活動させていただいております。

この受賞は、表記上は私の個人表彰ではありますが、鳥取県高等学校PTA連合会が献身的

に取り組んだ活動の成果の証です。これから先皆様が、子どもたちのより良い教育環境を築く為に、私が皆様の代役として吸収させていただきました知識と経験を、フィードバックさせていただきます。いつでも何なりとお気軽にお問合せください。

最後に、家族、PTAの仲間たち、学校の先生方に感謝します。彼らの支えがなければ、私はこの貴重な体験はできませんでした。未来から来た留学生である子どもたちをサポートして行きましょう。そして、子どもたちに負けないように大人も変わりますように！



PTA活動紹介

倉吉西高等学校

本校は、大正3年6月に「倉吉町立実科高等女学校」として設立認可を受け、令和6年度には創立110年を迎えます。本校PTAは教育ビジョンの教育目標である「地域を支える、貢献に資する人材の育成」の達成に協力するとともに、家庭教育及び社会教育の振興を図ることを目的に日々活動を行っています。

組織は、会長1名、副会長3名、監査2名、評議員各ステージ（学年）15名程度で構成され、評議員会の中には「ふれあい活動部」「健全育成部」「人権教育推進部」「広報部」の専門部があり、年間を通じて様々な活動を行っています。

「ふれあい活動部」は、PTAバザーとして西高祭でジュース販売を行っているほか、ふるさとラリー（強歩大会）ではお菓子や飲み物の配布を行うなど学校行事に参画し、生徒の活動に積極的にかかわる体制を大切に活動し、直接生徒とふれあうことで、生徒の成長を身近に感じています。



「健全育成部」は年に2回校門周辺に立ち、あいさつ運動とともに登校状況視察を行い、生徒の健全な育成に関する活動を行っています。最近では、自転車のヘルメット着用推進など、交通安全に関する啓発活動に力を入れています。

「人権教育推進部」は、秋にPTA人権教育研修会を開催し、校内広報紙である「西高通信」人権教育特集号を年1回発行し、人権教育に関する啓発活動を行っています。

「広報部」は、校内広報紙「西高通信」を年3回発行しています。学校行事・部活動など生徒の活動の様子を記録した写真を多く掲載して、楽しんで見ていただけるように編集しています。また、PTA活動や研修などの報告をホームページに掲載し、活動を身近に感じていただけるようにしています。

新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行されたことに伴い、社会活動をはじめ子どもたちの学校生活もコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

コロナ禍を経験した私たちPTAが再びつながりながら、活動を「Restart」させて子どもたちの健全な育成を見守っていきたいと思います。

文責 会長 藤井一彦



PTA活動紹介

米子南高等学校

鳥取県立米子南高等学校は昭和2年に前身の鳥取県立蚕業学校として創立して以来、今年で96周年を迎えます。現在は商業学科ビジネス情報科および家庭学科生活文化科の2科編成となっており、生活文化科は環境文化コースと調理コースと2つのコースに分かれます。毎年、多くの生徒が大学、短大をはじめ各種専門学校へ進学したり、県内外への企業へ就職したりと、社会へ羽ばたいております。

本校PTAでは、生徒が生き生きと何事にも臆せずに挑戦し、充実した高校生活が送れるように、保護者、学校のみならず地域の多くの皆様に支えていただきながら活動を行っております。これより米子南高PTAの4つの専門部をご紹介します。

「広報部」は、広報誌「米南だより」を年3回発行しています。今年度からはコロナウイルスによる行動制限もなくなり、子どもたちが学校生活や学校行事をより一層楽しんでいいることと思えます。広報誌を通じて、PTA活動や子どもたちの笑顔や元気な姿を情報発信しております。

「国際交流部」では、コロナ禍前まで



研修指導部による学校訪問



人権教育部による防犯パトロール

韓国の高校と交流を行ってきました。しかし近年、交流は中止を余儀なくされたため、代替案として学校へ外国出身の方を招いて講習会を行っています。毎年山陰在住の外国の方をお呼びして母国の話をいただいたり、郷土料理を教えることのない文化を学び、珍しいお料理を食べて交流を深めています。今後は国際事情がよくなりご縁があれば交流を再開できる日が来ることを期待しています。

「人権教育部」では、学校付近の防犯パトロール、しゃべらいや会、研修会への参加等の活動を行っています。しゃべらいや会は「外部講師をお招きした講演会」の開催、「人権をテーマにしたDVD鑑賞」や「人権についての意見交換会」を行っています。DVDは様々なテーマから選ぶようにしています。早く安心してたくさんさんの活動ができればと思っています。

「研修指導部」の主な活動は、水陵祭（体育の部、文化の部）でのバザーおよび、子どもたちの進学先・就職先を保護者目線で見学させて頂く研修会を企画・開催しております。コロナウイルス5類移行に伴い、みんなで様々なアイデアを出し合い、「子どもも職員も保護者も学校を楽しむ」をモットーに活動して参ります。長いようで短い高校生活、「楽しかったなあ」と思える充実した時間になるよう、活動しております。

最後に本校PTAでは「やりたいことを無理なく楽しく」を基本理念とし、子どもたち・保護者・学校の架け橋となるPTA活動を目指して参ります。

文責 会長 松田真二

令和5年度 総会報告



足羽教育長

令和5年度の定期総会は、6月12日(土)、倉吉シテイホテルにおいて鳥取県高等学校PTA連合会表彰式・PTA会長研修会と併せて開催いたしました。県内22校のPTA会長・校長が一同に集まり、来賓に足羽英樹教育長、井上祐一郎教育委員会事務局参事監兼高等学校課長をお迎えし、PTA活動に尽力されたPTA役員の方々への表彰を行いました。

来賓祝辞では、足羽教育長から、「学校を取り巻く環境は、学校だけの力では、何事も成し得ない状況がある。PTAの皆様の力、地域の皆様の力、そこを下支えできるよう応援していくことが私たち教育委員会の大きな責務であり仕事である。コミュニティスクールも全校でのスタートとなったが、コミュニティスクールが児童生徒の教育活動をより充実させるための大事な方策であることを思えば、PTAの存在意義は大きなものがある。」とお言葉をいただきました。

その後議事に入り、令和4年度の会務報告、会計報告及び令和5年度の事業計画、予算、並びに令和5年度全国高P連会長表彰の推薦について協議を行い原案どおり承認されました。

最後に役員改選があり、会長には、徳吉淳一氏(鳥取西高)が昨年に引き続き選任され、新役員は下表のとおりです。

PTA会長 研修会

総会に先立って、PTA会長研修会を開催しました。PTA会長からの意見交換事項に対して、井上参事監兼高等学校課長から説明をしていただきました。



井上参事監兼高等学校課長

令和5年度 各種大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
期日：11月12日(日)午前10時～12時
会場：米子市文化ホール
内容：講演会
演題 「半径5mから始まる世界」
講師 株式会社「キャリアガイダンス」
編集長 赤土 豪一 氏
- 中部地区高等学校PTA研修会
期日：10月21日(土)午後1時～5時
場所：山守集学校への研修・視察
倉吉線廃線跡臨時案内所の視察
県立美術館での研修(建設中)
内容：中部地区にある、文化、歴史を再発見するため、現地研修を中心に実施予定
- 西部地区高等学校PTA会長・校長合同研修会
期日：10月7日(土)
場所：三光株式会社本社及び
潮見工場(境港市)
内容：工場見学

令和6年度 各種大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA連合会総会
期日：6月
会場：中部地区
- 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会高知大会
期日：7月12日(金)
会場：高知市
「高知県立県民文化ホール」
- 全国高等学校PTA連合会大会茨城大会
期日：8月22日(木)、23日(金)
会場：水戸市、ひたちなか市、小美玉市
- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
期日：11月
会場：東部地区

令和4年度 鳥取県高等学校PTA連合会 決算書

収入の部			
(単位：円)			
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増 減 (B)-(A)
(1)負担金	4,984,250	4,984,250	0
(2)補助金	1,187,000	1,139,414	△ 47,586
(3)前年度繰越金	1,377,617	1,377,617	0
(4)繰入金	600,000	600,000	0
(5)手数料	450,000	375,090	△ 74,910
(6)雑収入	133	22	△ 111
合 計	8,599,000	8,476,393	△ 122,607
支出の部			
(単位：円)			
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増 減 (B)-(A)
(7)会議費	250,000	182,945	△ 67,055
事業費	2,130,000	1,602,978	△ 527,022
(8)研修費	650,000	298,416	△ 351,584
(9)地区研修活動費	810,000	801,605	△ 8,395
(10)活動費	140,000	93,639	△ 46,361
(11)広報費	500,000	398,332	△ 101,668
(12)事業事務費	30,000	10,986	△ 19,014
運営費	5,680,000	5,229,551	△ 450,449
(13)人件費	3,480,000	3,474,999	△ 5,001
(14)旅費	900,000	697,835	△ 202,165
(15)運営事務費	190,000	148,795	△ 41,205
(16)借入料	190,000	168,913	△ 21,087
(17)通信運搬費	200,000	151,022	△ 48,978
(18)渉外費	120,000	0	△ 120,000
(19)社会保険料	570,000	560,787	△ 9,213
(20)雑費	30,000	27,200	△ 2,800
(21)負担金	300,000	276,487	△ 23,513
(22)租税公課等	92,000	92,000	0
(23)退職積立金	100,000	100,000	0
(24)予備費	47,000	0	47,000
合 計	8,599,000	7,483,961	△ 1,115,039
収入額計	8,476,393	支出額計	7,483,961
		繰越額	992,432

令和5年度 鳥取県高等学校PTA連合会役員

役 職	氏 名	所属高校
会 長	徳吉 淳一	鳥 取 西
副 会 長	藤井 一彦	倉 吉 西
〃	堀江 司	米 子 東
理 事	網谷 憲治	鳥 取 東
〃	松本 智成	米 子
理事(校長協会長)	中林 正樹	鳥取工業
〃(〃東部会長)	小川 泉	青 谷
〃(〃中部会長)	檜 佳憲	鳥取中央育英
〃(〃西部会長)	田辺 洋範	米 子 東
〃(連絡協議会)	國岡 進	鳥 取 西
〃	田中 博幸	倉 吉 西
〃(西部会代表)	山崎 和正	米 子 南
監 査	木下 雅文	鳥取商業
〃	吉田 幸泰	鳥取中央育英
〃	西村 和宏	日 野
顧 問	西川 昌孝	
〃	荻原 恵子	

日野	境	境	米子工業	米子南	米子西	米子東	鳥取中央育英	倉吉総合産業	倉吉農業	倉吉西	倉吉東	智頭農林	八頭	岩美	青谷	鳥取湖陵	鳥取工業	鳥取商業	鳥取西	鳥取東	所屬校
西村和宏	池原良子	善波満	兼田誠志	松田真二	松本智成	廣中大介	堀江司	吉田幸泰	横川力	藤井一彦	衣笠優子	酒本浩	吾郷あすか	南部茂	長田かずみ	田中洋平	藤原慎一	木下雅文	徳吉淳一	網谷憲治	會長名
坪倉寿樹	新田真也	酒井敏彦	松川明義	山崎和正	野間佳浩	酒井信彦	田辺洋範	檜佳憲	米田明万	竹内善一	田中博幸	福光浩	岩本孝治	岡田優	辻中孝彦	小川泉	若林安徳	中林正樹	高垣知博	國岡進	校長名

令和5年度 県立高校PTA会長・校長名簿

第65回

中・四国地区高P連岡山大会報告



令和5年7月14日に岡山県倉敷市で行われた第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会に出席してまいりました。約1200名、多くのPTA関係者が参加されたとは伺っています。大会のテーマは「集まれば ころはれば 晴れの国」でしたが、みんなで集まって情報を共有し、思いを共感できた本大会は大成であったと感じております。

催しでは、一級建築士で紀行作家でもある稲葉なおと様が「倉敷から始める家族旅」を演題とし講演をしていただきました。高校生になった思春期の子どものとは、生活がすれ違いがち、会話もすれ違いがちになります。親が積極的に子供の旅心を動かすきっかけをつくり、共に旅行すること、人生の先輩として楽しみや経験を伝えていくことの重要性をお話しされました。建築家としての視点で、趣のある建物や、その地域にまつわる歴史を56個の豆知識として、子どもたちへアプローチされたとの体験談は、今まで思いもしなかった発想でありながら、具体的でわかりやすいお話で印象に残っています。建築物は、見る角度だけでなく、訪れる時間や天気で印象が変わるこ

とを教えていただき、子どもたちが今後学びを深めていくうえで、多様な視点をもつことの大切さを、親として伝えることも必要だと感じました。

倉敷市内3校による発表は、「課題解決型学習（PBL）」がテーマでした。課題として地域の活性化に目を向け、解決方法を地域の文化や食材に見出し、地域の方々と連携し行動を起こす取り組みは、とても刺激的で感心しました。鳥取県にも豊かな自然と食材、長い歴史と文化があります。私たち県内の生徒たちの知恵とパワーを向上させるサポートを続けたいと感じました。

PTAによる研究協議では、広島県・徳島県・岡山県から発表がありました。高校合併によるPTA統合の報告は、少子化が進むことを、改めて実感する機会となりました。各校共通して、コロナ感染症対策が必要であった期間も、PTA活動を柔軟に変えつつ、新たな取り組みに挑戦したことを報告されました。

コロナ禍で失ったものは多いと思います。しかし、リモート授業やWEB会議など新たなコミュニケーションツールが生まれました。そして今回、集って対話することの重要性や、集って活動する楽しさを改めて実感することができた岡山大会となりました。

令和5年のPTA活動は、あと半年もあります。鳥高P連も、互いの知恵や工夫を共有しつつ、しっかりと生徒たちをサポートすることを決心し、中国・四国地区高等学校PTA連合会大会の報告とさせていただきます。

（文責 高P連副会長 堀江 司）

令和5年度 県高P連表彰者一覧

鳥取東	吉澤春樹	倉吉総合産業	岩垣康代
鳥取西	伊藤智郎	鳥取中央育英	吉田幸美
鳥取商業	山口雅理		林美子
鳥取工業	原一久	米子東	阿弓憲
鳥取湖陵	稲垣久美		檜内江
青谷	水野幸栄	米子西	井井敏
岩美	原田孝		藤原秀
八頭農林	石井昌	米子	津田里
吉東	木下グ		福本美
吉西	田中子	米子南	伊東希
	濱美		田中子
	松俊	米子工業	宇野弘
	澤純	境	吉田郎
	松安		篠田晴
	伊小泉		木下香
	西山史		堀江美
	山本志		加藤子
	山金繪		木村賀
	内子紀		芳藤聡
	瀧由		伊高真
	奥秀		山根悦
	野幸		木下光
	山		吉

■全国高P連会長表彰■

鳥取県から受賞された個人・団体は次のとおりです。PTA活動に尽力され、素晴らしい成果をあげておられることが、多くの方々より高く評価された結果と存じます。

誠におめでとうございます。

◆個人表彰

吉澤 春樹 氏（前鳥取東高会長）	
県高P連理事	1年
単P顧問	1年
単P会長	3年
米原 幸司 氏（倉吉総合産業高会長）	
県高P連監査	2年
単P会長	3年

◆団体表彰

青谷高等学校PTA	
米子高等学校PTA	

令和6年度

鳥取県学生寮(東京)入寮生募集!

令和6年度 大学、短大、専修学校専門課程に入学予定の方を対象に新入寮生を募集します。12月より各高等学校等に募集案内を配布します。

■ 明倫館 電話:03-3415-8836

東京都世田谷区成城1-18-11

アクセス:小田急小田原線成城学園前下車 徒歩7分

所要経費	寮費(月額)	食費(月額)	入寮金(年額)	その他
	28,000円	18,000円	67,200円	個室電気代は別途徴収

寮生の声

- ・ご飯が美味しく、トレーニング器具もあるので運動もでき、とても過ごしやすい空間です。(明倫館1年)
- ・所属する大学をはじめ環境が異なる学生と関わるができるため、視野も広がり、刺激にもなっています。(明倫館3年)
- ・暮らしやすいだけでなく、勉強や社会に出るまでの準備の場としてもとても良い環境です。(明倫館4年)



■ 清和寮 電話:03-5982-1658

東京都豊島区目白4-34-6

アクセス:JR山手線目白駅下車 徒歩12分

所要経費	寮費(月額)	食費(月額)	入寮金(年額)	その他
	34,700円	17,000円	64,800円	個室電気代は別途徴収

寮生の声

- ・同郷の仲間と学校のことや悩みなどを共有できるので、慣れない都会でも安心して過ごすことができます。(清和寮2年)
- ・朝夕の食事のおかげで規則正しい生活が送れます。特に夜帰ってすぐに食事を食べられるのがとても嬉しい。(清和寮1年)
- ・池袋が近く(徒歩15分)、駅周辺は大型店も多いので大抵なんでも揃い便利。(清和寮1年)



公益財団法人 鳥取県育英会

〒680-8570

鳥取市東町1-271 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課内)

電話:0857-26-8375

ホームページ <http://www.tottori-ryo.or.jp>公益財団法人長谷育英奨学会 設立30周年記念
鳥取県立県民文化会館 開館30周年記念

MUSIC ENCOUNTER

木嶋真優

ヴァイオリンコンサート (Part 1)

出演:木嶋 真優 (ヴァイオリン)

坂野 伊都子 (ピアノ)

演奏曲:エルガー/愛の挨拶

ファリャ/オペラ「はかなき人生」より

"スペイン舞曲" ほか

とっとり

スーパーブラスコンサート (Part 2)

指揮:大井 駿

演奏:鳥取県高校生吹奏楽合同チーム

(鳥取東、青谷、岩美、城北、八頭)

演奏曲:ブラックホークが舞うところ

Official髭男dism メドレー ほか

2023. 11.5 日 開場13:00 開演:14:00
とりぎん文化会館 梨花ホール

全席指定(税込)

S席:4,000円 A席(一般):3,000円 A席(U18):500円

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

※U18は、公演当日に18歳以下の方が対象となります。入場の際は、身分証の提示が必要な場合があります。

チケット取扱い

とりぎん文化会館、倉吉未来中心

アルテプラザ(米子駅前ショッピングセンター4階)

WEBチケットとっとり [要登録・無料]

ローソンチケット (Lコード:63921) ※座席指定不可



《WEBチケットとっとり》



《公演HP》

共同主催:(公財)長谷育英奨学会、(公財)鳥取県文化振興財団

協賛:(株)八芳園、鳥取銀行

特別後援:新日本海株式会社、日本海テレビ

協力:鳥取県吹奏楽部連盟、鳥取県高等学校文化連盟

後援:鳥取県、鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会

岩美町教育委員会、八頭町教育委員会、若桜町教育委員会、智頭町教育委員会

お問い合わせ

とりぎん文化会館

TEL: 0857-21-8700 (案内番号2)

(9:00~18:00) ※休館日を除く

鳥取県高等学校PTA連合会会員学校 保護者の皆様へ

鳥取県高等学校PTA連合会推奨制度

中途加入
できます！

ハイスクール24のご案内

(団体総合生活保険)

お子様の日常生活の危険を総合的に補償します

割引
約 **44%**
適用(※)

個人賠償責任
**国内無制限
自転車条例**
にも対応!!

**24時間
365日
補償**

※ 団体割引 25%、損害率による割引 25%を適用。損害率による割引は、天災危険補償特約には適用されません。

令和5年度版

加入タイプと掛金

5タイプ

※割引適用後の保険料です。

加入タイプと補償項目	Wタイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Sタイプ
賠償 個人賠償責任 (記録情報限度額500万円)	全ての加入タイプに「国内：無制限、国外：1億円」を付帯しています！				
死亡・後遺障害	165万円	154万円	124万円	66万円	54万円
入院保険金(日額) ^(※1)	2,445円	2,150円	1,400円	800円	—
手術保険金	入院保険金日額の10倍(入院中の手術) または5倍(入院中以外の手術)				
ケガ 通院保険金(日額)	1,100円	1,100円	700円	500円	—
・熱中症危険補償特約 ・細菌性食中毒等補償特約 ・天災危険補償特約 ・特定感染症危険補償特約	全ての加入タイプに付帯しています！				
被害事故補償	3,000万円	—	—	—	—
入院療養一時金	20万円	—	—	—	—
疾病 入院医療保険金(日額)	2,300円	—	—	—	—
手術医療保険金 ^(※2)	入院医療保険金 日額の10倍 または5倍	—	—	—	—
費用 育英費用 (天災危険補償特約セット)	120万円	114万円	88万円	20万円	—
その他 携行品(自己負担額5千円)	10万円	10万円	10万円	10万円	—
救護者費用等	100万円	100万円	100万円	100万円	—
年間掛金 ^(※3) (保険料+制度維持費300円)	10,790円	8,450円	6,560円	4,700円	2,310円
保険期間(1年ごと自動更新)	2023年4月1日(午後4時)より2024年4月1日(午後4時)まで1年間				

<補償イメージ>

<個人賠償責任>
自転車で登校中、
通行人にぶつかってしまい
ケガをさせた。



<ケガの補償>
体育の授業中に転倒し、
骨折。入院・通院した。



<携行品>
部活動中にラケットを折っ
てしまった。
(自己負担
5千円)



<お申し込み方法>

Webにてお申込みいた
できます。
下記QRコードを
読み込み、サイトに
アクセス後、
加入手続き
を進めて
ください。



(※1) 手術保険金のお支払い額は、入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の処置や処置等お支払いの対象外の手術があります。

(※2) 手術医療保険金のお支払い額は、入院医療保険金日額の10倍(入院中の手術または放射線治療)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の処置、
切開術(皮膚、鼓膜)、抜歯等お支払いの対象外の手術やお支払回数に制限がある手術があります。

(※3) 年間掛金には制度維持費300円が含まれております。

- ◆上記の表に記載している掛金は、1年間分の金額です。中途加入の掛金はお問い合わせください。
- ◆保険の責任開始は、加入手続きで指定された始期日以降となります。
- ◆詳しい補償内容につきましては、Web加入画面をご覧ください。下記取扱代理店までお問い合わせください。
- ◆本制度の対象は令和4年度以降に入学されたお子様です。令和3年度以前に入学されたお子様は旧制度となりますので、詳細はお問い合わせ先までご連絡ください。

制度に関するお問い合わせ先(東京海上日動火災保険株式会社 取扱代理店)

(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 鳥取支社(受付時間 月～金 9:00～18:00)

住所: 鳥取市南限541トリニティーモールBゾーン1F TEL: 0857-32-8825

この保険は、鳥取県高等学校PTA連合会を契約者とし、団体の構成員等を保険の対象となる方とする団体契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として契約者が有します。
こちらは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

引受保険会社



東京海上日動火災保険株式会社

23TC-003732 令和5年9月作成